

(2018/04/07 練習メモ)

「島よ」の歌い方

- P3 出だしのアルトのハミング：4小節に曲のすべてを盛り込んだ「起承転結」を表現
- P4 「あおい」は、青い、ではなく、碧い（エメラルドのような緑があったあお）
- P7 ユニゾンの「みつめられて」の「れ」は ド（CisではなくC）
- P12 「ああ、だが、どこに」 “絶望”の表現
- P19 「わすれられたこのみのように」 “孤独”の表現
- P23 上3パートの「ああ」 これは絶望の「ああ」
- P26 「そがれ けずられ」の「れ」の音を決める（半音階で上昇していく）
- P31 「しまはぬれ しまはずむ」 弱音の場面こそ息を増やし、息を流す
- P35 上の段、下の段の4拍目のcresc.(松葉)は大きさに
- P39 「を」は思ったより短い（前の頁でrit.がかかり、頁が変わるとpiu mosso）
- P44 ソプラノは「そらは…」「よるへ…」「しまは…」を、男声を聞いてユニゾンで合せる
- P49 最後の「ほほえみ」の「ほ」を4パートで合せる
- P50 ソプラノ「やってくるもの」の「る・も」の音の幅は一音（p47と混同しない）
- P59 pppの「はかないしま」 ここも息をたくさん混ぜて

北條先生の発声レッスンで『息を流す』ことと合せて、『つむじ』を意識して高いところから声を出すことも体感しました。音符を歌うことにいっぱいいっぱいにならずに、休符の時も冷静に次の歌のためにどんな準備をしたらいいか、それぞれのパートの準備ポイントもチェックしておきましょう。

2018/04/09

文責：関@13期